（別紙１―１　第９条関係）

事業の実施調書（完了実績報告）

１　補助事業費内訳

申請額　　　　　1,189,000

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【警戒区域の番号】 | 事業期間 | 構造方法 | 施行延長（ｍ） | 基準単価（円／ｍ） | 補助対象経費の算出 | 補助対象経費（円） |
| （事業の実施場所） | 工事費 | 設計費 | 総額（限度額3,360千円） | 負担区分 |
| 氏名 | 申請額 | 受益者 |
| １ | (番号) | (自)R〇.●.△ | (防護壁設置) | (10.0) | (131,000) | (1,310,000) | (〃) | (1,651,000) | (1,238,000) | (413,000) |
| (至)R〇.●.△ |
| (場所) | (自)R〇.●.△ | 防護壁設置 | 9.5 | 131,000 | 1,244,500 | 341,000 | (1,585,500） | 1,189,000 | 396,500 |
| (氏名) | (至)R〇.●.△ |

１）下段に実績（精算額）を記入し、上段（　）書きで直近（当初・変更後）の計画を対比すること。

２）構造方法は、外壁強化又は防護壁設置のいずれかを記入すること。

３）基準単価は以下のいずれかを記入すること。

　　①外壁を強化した場合　120,000（円／ｍ）

　　②防護壁を設置した場合

　　　・高さ２ｍ未満　102,000（円／ｍ）

　　　・高さ２ｍ以上　131,000（円／ｍ）

４）施行延長は構造物の中心の長さとし、小数第１位（小数第２位切り捨て）までとする。

５）補助対象経費は、基準単価に施行延長（小数第１位（小数第２位切り捨て））を乗じて得た額に設計費341,000円を加えて算出した額を記入すること（１円未満の端数を切り捨て。限度額を3,360千円）。ただし、当該算出額が補助事業の実績額を超える場合は、当該実績額を補助対象経費とする。

６）申請額は、補助対象経費に３／４を乗じて得た額を記入すること（千円未満の端数を切り捨て）。

３　添付資料

　（１）補助事業の実績額が確認できるもの（領収書、契約書　等）

　（２）写真（施行前又は施行中及び施工後が分かるもの）